

衆議院東日本大震災復興特別委員会ニュース

平成 30.12.4 第 197 回国会第 3 号

12 月 4 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 東日本大震災復興の総合的対策に関する件

- ・渡辺復興大臣、橋復興副大臣、浜田復興副大臣、白須賀文部科学大臣政務官、石川経済産業大臣政務官、阿達国土交通大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力ホールディングス株式会社代表執行役副社長

文挾誠一君

（質疑者及び主な質疑内容）

高橋ひなこ君（自民）

- ・真の復興には心のケアへの取組が極めて重要であり、今後も継続していく必要があると考えるが、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・地域によって復興の格差が非常に大きくなっているが、現在の復興の進捗状況及び復興・創生期間後の復興の進め方について、復興大臣の見解を伺いたい。

高木美智代君（公明）

- ・福島イノベーション・コースト構想について、復興・創生期間後も継続してしっかりと取り組んでいくことについての決意を伺いたい。
- ・福島県の医師の偏在是正、介護の人材確保について、様々な対策が講じられているものの、思うように進まない現状について、政府の今後の取組及び対応を伺いたい。

山崎誠君（立憲）

- ・自主避難者に対する賃貸住宅への家賃補助等の住宅支援施策が来年 3 月に打ち切られるが、避難者の生活実態を把握しているのか、また、今後どのような手当てをするつもりか、復興庁の見解を伺いたい。
- ・罹災証明書があれば、公営住宅法における特定入居の対象者として検討されることを国土交通省に確認したい。

阿久津幸彦君（立憲）

- ・復興庁が創設されて 7 年が経過したが、その成果について復興大臣の所見を伺いたい。
- ・震災により特に人口減少が続く沿岸部の被災地域の復興のため、「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」の申請期間及び運用期間を再延長する必要があると考えるが、経済産業省の見解を伺いたい。

小熊慎司君（国民）

- ・福島第一原子力発電所事故は継続中の災害であり、復興・創生期間後も引き続き対応していくためにも、復興庁の後継組織を作るべきであると考えているが、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・東京電力は、被災者に寄り添うと約束しているにも関わらず「浪江町 ADR 集団申立て」において原子力損害賠償紛争解決センターが示した和解案を拒否したが、その理由を伺いたい。
- ・福島第一原子力発電所においてタンクに保管されているいわゆる ALPS 処理水について、トリチウム以外の核種を除去した場合、最終的に海洋放出するのか、経済産業省に確認したい。

玄葉光一郎君（無会）

- ・福島の森林再生については、避難区域が設定された 12 市町村以外も含めて、復興・創生期間後も引き続き取り組むのか、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・除染廃棄物等の仮置場の原状回復に当たっては、元の状態に戻すだけでなく、地権者等の土地利用についての意向を確認し、柔軟な対応をとるべきと考えるが、環境省の見解を伺いたい。

金子恵美君（無会）

- ・福島の復興に当たっては、ハード面だけでなく、被災者の心に寄り添うソフト面により目を向けていく必要があると考えるが、復興大臣の決意を伺いたい。
- ・復興大臣には自主避難者の生の声に触れてもらいたいが、そのような機会を設ける考えがあるのか伺いたい。

高橋千鶴子君（共産）

- ・復興・創生期間後に生活支援相談員制度が終了してしまうのではないかと不安を持っている被災者が多く、また、震災関連自殺者も発生している中で、支援を継続していくべきであると考えているが、復興大臣の見解を伺いたい。
- ・与党の「東日本大震災復興加速化のための第7次提言」では、2020年前半には幹線道路沿いや身近な場所から除染土壌等の仮置場を解消するとしているが、具体的に身近な場所とはどこで、どのように決めていくのか伺いたい。

森夏枝君（維新）

- ・震災関連自殺者を出さないために「心のケア」への取組は復興・創生期間後も継続していくことが必要であると考えるが、被災者の「心の復興」に向けた復興大臣の決意を伺いたい。
- ・外国人技能実習生に除染作業をさせていた現状及び今後の対応についての法務省の見解を伺いたい。